

令和4年度水産加工業等販路回復取組支援事業（2次） 採択結果

復興水産加工業販路回復促進センター

所在地		事業者	取組概要
岩手県	九戸野郡町	株式会社カネセ関根商店	真空包装機を導入し、取り扱いが便利かつ、より一層安全・安心・清潔な製品として、鮮度の高い製品の提供するとともに、養殖ギンザケの真空包装パック製品も提供する。このように、機械化することで生産量を増やし、自社製品のPRをしていくことで販路の拡大を図る。
宮城県	気仙沼市	株式会社カネダイ	貝類、蟹、海老等のサイズ選別の機械化を図るため、機器を導入し、省人化による増産体制の構築を行い、パック製品の販路の拡大に繋げる。また、省人化による余剰人員を他の加工工程に配置し、会社全体的な増産を図り、売上向上を図る。
		株式会社モリヤ	「骨まで食べられる青魚シリーズ」の増産体制による生産性の向上、人にも環境にも優しく健康志向商品を提供するコーポレートブランドの強化を行い、さらに、骨取切身需要の一部を「骨まで食べられる魚」の商品化へ転換し、市場シェアの拡大に取組、売上の向上を図る。
	南三陸郡本吉郡	株式会社マルジン三浦水産	需要に対応できていない状況の中、ホタテの洗浄工程、貝剥き工程、重量選別工程に機器を導入し、省人化、効率化による増産を図り、注文に対応できる体制を構築し、販路の回復に努める。
	牡鹿川郡町	株式会社丸一阿部商店	養殖ギンザケや輸入ギンザケ等の定塩加工において、委託先の求める品質基準を維持及び生産性を上げるため、フィッシュインジェクター、大型センターカット機を導入し、売上回復を図る。

※本事業は、復興水産加工業等販路回復促進事業実施要綱（平成23年11月21日付け23水漁第1445号農林水産事務次官依命通知）に基づき実施する国庫補助事業です。